

平成29年度の振り返りと今後の展開

農地中間管理事業の推進につきまして、大変お世話になっています。

本年2月、29年度の農地中間管理事業の外部評価委員による事業評価を受けました。

結果は、手続き緩和等、京都府機構独自の制度改善に務めたことなどで今年度契約実績が335ha（前年度の15%増）となり、プロセスにおいてはA評価（3段階評価）をいただきましたが、年間集積目標の1,000haには遠く及ばず、総合評価はBとなりました。

評価委員会の中で報告したこととして、京都府は、中山間地域の多い中北部は条件不利農地が多く農地を借り受ける担い手が少ない、逆に南部は担い手が多いが貸し出す農地が少ないという、南北で大きく違いがあるということです。北部の委員から、維持管理に費用がかかり十分な収益を確保することができないことから、近年、農地を貸し出す側がお金を払って管理をしてもらう事態が生じるまでに状況が厳しくなっていることが報告されました。

この事業は土地利用型の条件の良い地域は取り組みやすいですが、京都のように中山間地域が多く野菜やお茶を生産している地域は取り組みにくいので、国がより使いやすい事業にするために事業開始から5年後の見直しに向けて検討を進めていることから、京都の状況を強く国へ訴えているところです。

同時に、京都でできることは京都でやっという考え方で、全国的にも先進的取組として注目されている「二階建て法人」や「地域のコミュニティ組織」を地域実態に合った形で形成し、そうした組織を核にしなが、経営力のある担い手、集落営農法人、そして多様な担い手が協力しあって地域の農地を守り持続可能な農業を推進したいと考えております。

さらに、今年度から始めた農地の借り手希望者を対象とした出し手農地を見学する「現地見学会」で首尾よくマッチングすることができたので、こうした取組を府域全域で行っていきたいと考えております。

併せて、京都府では全国で初めて農業会議（農業委員会ネットワーク機構）と農業総合支援センター（農地中間管理機構）が、今年7月1日を目途に合併すべく検討を進めており、府内で700名を越える農業委員さんや農地利用最適化推進委員さんと一緒になって、「人と農地のワンストップ相談窓口」を形成し、「地区連絡会議」等で情報交換や様々な地域課題に係る話し合いを進めていきたいと考えております。そしてこの活動を伴走支援するため、合併した組織に現地推進役を16名新たに確保することや「担い手創生委員会」を設置し担い手対策を検討したいと考えているところで、引き続き、関係の皆様のご理解とご支援をよろしくお願い申し上げます。



（京都府農地中間管理機構）
京都府農業総合支援センター
小田一彦理事長

★募集しています★

○農地を貸したい方へ

離農や、規模縮小を考えておられる方、農地が荒れる前に農地中間管理機構、市町村農政関係課にご連絡ください。

○農地を借りたい方へ

農業を始めたい方、規模拡大を考えておられる方、農地中間管理機構では農用地等の借受希望者の募集を通年行っています。詳細については機構までご連絡ください。

京都府農地中間管理機構（公益社団法人京都府農業総合支援センター） TEL：075-417-6868

住所：京都市上京区出水通油小路東入丁子風呂町 104-2 京都府庁西別館 3F

農地中間管理事業を活用し獣害柵設置～意欲ある担い手への支援～

平成29年7月7日「貸付登録農地現地見学会」が南丹市園部町埴生奈良ヶ谷地内で南丹市、農業委員、地元代表者等の協力を得ながら5経営体参加のもと実施されました。



(着工前)



(竣工)

見学会当日は、参加経営体から区画が小さいこ

とや獣害が懸念されマッチングには至りませんでした。その後の粘り強い関係者の取り組みにより、亀岡市と南丹市で営農展開している「ファーザーズファーム」（代表：伊藤博隆氏）から積極的な意向が示され、「ファーザーズファーム」が将来の担い手である研修生の営農ほ場として活用したいと意向がありました。

機構は地元関係者と協議し、**府単費事業である遊休農地等流動化促進事業（機構条件不利農地整備支援事業）**で、1.2haの農地に獣害柵の設置工事を実施し2月末に完了しました。

今後、「ファーザーズファーム」で研修中の3名に研修終了後、順次貸付けをする予定です。農地中間管理機構は意欲ある担い手への支援を、関係者の支援・協力を得ながら続けていきたいと考えておりますのでお気軽にご相談下さい。



(電源設置状況)

(農地中間管理機構 推進員 梶谷 正明)

◆イベントガイド◆

開催日	催事名	会場	お問い合わせ
4月10日(火)	農地農政相談	福知山市内複数会場	福知山市農業委員会事務局
4月19日(木)	山城地域就農相談	京都府田辺総合庁舎	山城北農業改良普及センター (TEL：0774-62-8686) 山城南農業改良普及センター (TEL：0774-72-0237)
	◆事前に予約が必要です（相談日の7日前までにご予約、下さい） ◆ある程度の就農準備ができています方を相談対象として想定しております。 ◆就農準備がどの程度できているかにより、他の相談機関を紹介する場合がありますので御了承ください。		

※ 京都府農地中間管理機構では、「FarmBankNews」を（公社）京都府農業総合支援センターのHPに掲載しています。
 （公社）京都府農業総合支援センター（農地中間管理機構）のホームページからメールアドレスの登録ができるようになりました。どなたでもご登録いただけますので、農地中間管理事業に興味のある方、また、活用をお考えの方、お気軽にご登録ください。